# こが市議会だより

第113号
令和7年（2025年）
11月20日
発行責任　福岡県古賀市議会

第3回定例会　令和6年度　古賀市決算 —— 2～7p
主な審議・補正予算 —— 8～9p
賛否一覧・請願・意見書 —— 10p
一部事務組合 —— 11p
ここが聞きたい！一般質問 —— 12～16p
常任委員会報告 —— 17～19p



写真：夏休み参加型学習「古賀市子ども議場体験会」

古賀市議会

令和６年度の決算について、決算特別委員会（９月18日～25日の５日間）で審査を行いました。

# 令和6年度 決算総額

（一般会計・特別会計の合計）

歳入 403億1,358万円

歳出 380億5,896万円

実質収支22億5,461万円の黒字

## 教育費

学校教育・社会教育など

**30億2,740万円**

（増減率5.9% 増）

主な増：社会教育費・保健体育費
主な減：教育総務費



## 総務費

公共交通・財政管理・企画・選挙など

**48億2,935万円**

（増減率10.9% 減）

主な増：戸籍住民基本台帳費・選挙費
主な減：総務管理費・統計調査費



## 衛生費

新型コロナ対策･健康づくり･健診など

**16億7,845万円**

（増減率50.8% 減）

主な減：保健衛生費・清掃費



## 民生費

社会福祉・子育て・保育所・高齢者など

**122億3,152万円**

（増減率8.6%増）

主な増：社会福祉費・児童福祉費・
生活保護費



## 災害復旧費

被災箇所の復旧など

**625万円**

（増減率59.4% 減）

主な減：農林水産施設災害復旧費・
公共土木施設災害復旧費



## 消防費

消防・災害対策など

**8億2,976万円**

（増減率8.5% 増）

主な増：災害対策費



## 特別会計

### 国民健康保険

**56億2,987万円**

（増減率4.1% 減）

### 後期高齢者医療

**10億9,342万円**

（増減率14.6% 増）

### 介護保険

**43億5,255万円**

（増減率3.1% 増）

## 一 般 会 計

歳入 **290億5,530万円**（前年度より2億3,978万円の減）

歳出 **269億8,312万円**（前年度より10億8,396万円の減）

**実質収支20億7,218万円の黒字**

### 労 働 費

勤労者等交流・就労支援など

**991万円**

（増減率19.2% 増）

主な増：職業紹介事業費




### 商 工 費

商工業・観光など

**1億5,988万円**

（増減率12.6% 減）

主な減：経営支援事業費



### 公 債 費

市債の償還金など

**15億5,741万円**

（増減率3.9% 増）




### 農林水産業費

農業・林業など

**5億5,504万円**

（増減率9.0% 減）

主な増：林業費
主な減：農業費



**※市の広報に掲載されている古賀市決算額と、本誌に掲載している決算額には、一部で数字の違いが見られます。**

これは、市の広報が国のルール（総務省の仕分け）に沿って予算をまとめているのに対し、議会だよりでは実際の決算書に基づいて金額を掲載しているためです。

どちらも正しい数字ですが、集計の方法や区分の仕方が違うために見かけ上の差が出ているものです。

また、市の広報は100万円未満四捨五入ですが議会だよりでは千円以下を四捨五入しています。

### 土 木 費

道路・公園管理・都市計画など

**18億7,847万円**

（増減率7.0% 増）

主な増：土木管理費・道路橋梁費
主な減：都市計画費・住宅費



## 公営企業会計



### 水 道 事 業

| | |
|---|---|
| 収益的支出 | 10億8,534万円 |
| 資本的支出 | 6億147万円 |

### 下水道事業

| | |
|---|---|
| 収益的支出 | 21億8,098万円 |
| 資本的支出 | 15億7,945万円 |

## 総務費

### 公共施設等連絡バス運行委託 1039万円

質疑 利用者の声や要望はどのようなものが上がっているか。

回答 現在の便数の維持、土日やイベント時に運行してほしい、回数券を導入してほしいといった声をいただいている。

### 高校生未来プロジェクト運営委託 302万円

質疑 なぜこの事業者に委託したのか。

回答 お笑い芸人による若者の関心を引きつける手法と、また、政策提言を具体化するための豊富な知見、そして、多様な専門家とのネットワークを多く有している点を高く評価したため。

質疑 参加人数が5人と少ないがどういった周知をしたのか。

回答 ウェブサイト、各学校へ訪問しての依頼、依頼文の送付など、周知募集を行った。

### インキュベーション促進委託 2258万円

質疑 当初は売上の8割を古賀市が得るとされていた前提条件が、覚書によって売上の1割を古賀市が得るという形に修正されていた。なぜこのような売上分配となったのか。

回答 利用料収入の分配については、コミュニティマネジャーの配置、運営の状況、利用実績など、柔軟に調整を行うべく、覚書方式を採用しており、この中で協議により調整し決定をしている。

### 進出企業定着・地域活性化支援委託 3000万円

質疑 古賀市専用のプラットフォームをつくることにより、利用者を増やすことや、インプレッションを増やすことなど、運営していくことは並大抵のことではない。今後も継続していくのか。

回答 現在も加入者数、登録等団体数が増加しており、鋭意努力していく。

## 教育費

### 就学援助費 6775万円

質疑 支援の周知についてはどう取り組んでいるのか。

回答 広報こがへの掲載、学校を通じて各児童生徒に紙媒体を活用して配付、同時に古賀市公式ホームページへ掲載や、古賀市公式ＬＩＮＥでの発信、安心安全メールでの保護者への案内など、複数の手段を用いて、確実な情報伝達に努めている。また、令和7年度からオンライン申請も開始している。

### 電子書籍コンテンツ使用料 160万円

質疑 図書館の登録者数が令和5年度1万9660人から令和6年度1万6540人と減少しているが図書館の登録者数と電子書籍コンテンツ利用者が減少した理由は。

回答 登録者数が3年に1度、3年間使われてなかったら見直しという形になるので、現状登録者数が減少している。

### 小中学校給食材料費補助金 4500万円

質疑 補助金の使途結果については。

回答 物価高騰による給食材料費の上昇分を補助する目的として、小学校に対して3090万円、中学校に対して1410万円の補助を行った結果、一食あたり約50円分の保護者の経済的負担を抑えつつ、質の高い給食を安定的に提供することができた。



## 民　生　費

### 医療的ケア児在宅レスパイト事業補助金　315万円

**質疑** 保護者も、大変な思いをしながらケアしている現状。周知方法は。

**回答** 古賀市のホームページや、福祉課で作成している福祉のガイドブック等に掲載し周知を図っている。また、この事業は訪問介護を利用されている人が対象なので、担当の訪問看護師からも周知をするようにしている。

**質疑** 1人当たりの平均利用時間が60時間と書かれている。補助対象時間というのは確か48時間だと思うが説明を。

**回答** 自宅や自宅以外の外出先等に派遣する時間が48時間。それとは別に、学校や保育所等といった機関に限定して訪問看護の派遣が別に144時間ある。合計して1192時間の利用可能時間となっている制度なので、平均すると1人当たり60時間となっている。

### コミュニティソーシャルワーカー委託　707万円

**質疑** 相談件数の世帯数および延べ相談件数は何件か。どういった相談内容が多いのか。コミュニティソーシャルワーカーの周知啓発は。

**回答** 支援世帯数は41世帯、延べ594件。民生委員や近所の人から、近隣に住む人が心配だといった相談をいただくことが多い。周知啓発は、民生委員、福祉委員、地域で活動している人たちに行うとともに、最近では区の役員会でも周知している。

### 障がい者生活支援事業費　20億9882万円

**質疑** 小学生と中学生それぞれの放課後等デイサービスの利用実績をどう把握しているのか。

**回答** それぞれの数は現在把握をしてない。ただ、小学生が支給決定および利用も一番多いと把握している。

### 子どもの誕生お祝い事業補助金　83万円

**質疑** 商品券を利用期間内に使い切れなかった世帯や、1枚も利用しなかった世帯もあった。利用者の声はどのようなものが上がっているのか。

**回答** 車がない世帯からは、古賀グリーンパーク内のコスモス広場まで行くのが難しいとの意見。また、商品券をもらって、6か月以内が有効期限だったので、小さな子どもを一緒に連れてコスモス広場まで行くのが難しいという意見があった。




## 商　工　費

### 新事業創出促進補助金　1511万円

**質疑** 補助金の評価は。

**回答** 新規創業については商工会等からの相談があった際に、さまざまな補助を行っている。申請件数については例年ばらつきはあるものの、常に商工会または商工政策課へ相談があっている。

### 地域活性化起業人派遣負担金　93万円

**質疑** 不用額が466万8000円になった理由と、コスモス館にあるコガボーノの現状と課題は。

**回答** 不用額については、市が求めていた人材と条件等がマッチするものがなかった。コガボーノの現状と課題について、店内の配置、座席、物品販売している部分のエリアの見直しを行い、新しい商品の仕入れ等を検討し実施している。

## 衛生費

**地域猫活動補助金　84万円**

質疑 **活動の補助は。**

回答 去勢手術や不妊手術に対する補助だけでなく、生息数の抑制というところで、不妊手術や、去勢手術およびワクチン接種の補助も対象としている。



**その他委託料　2億18万円**

質疑 **がん検診の受診率の傾向は。**

回答 全ての診療科においてほぼ横ばい。胃がんについては減少、肺がんについては増加、大腸がんについては同率、乳がんについては増加、子宮頸がんについては減少となっている。

## 農林水産業費

**地産地消促進事業費　1353万円**

質疑 **令和6年度のコスモス館の売上げと売上額向上に対する取り組みは。**

回答 売り上げは4億1300万円となっており、これからも魅力ある拠点づくりに向けて、コスモス利用組合と一緒に検討していきたい。

**荒廃森林整備事業委託　2102万円**

質疑 **森林状況の調査結果と今後の対応は。**

回答 168・52ヘクタールの調査を行い約130ヘクタールが荒廃していくという調査結果が出ている。今後は、所有者からの同意を得た上で、間伐などを行い、森林の機能保全のための整備を行っていく予定。

## 土木費

**木造戸建住宅耐震診断費補助金　1万円**

質疑 **全体の対象数に対する実績数は。**

回答 古賀市耐震改修促進計画で推計している昭和56年以前に建築された耐震性に劣る木造戸建住宅は2583戸。
補助金交付件数は4件。

## 消防費

**自主防災組織防災資機材購入費補助金　10万円**

質疑 **対象となる行政区への周知状況と申請が少なかった理由は。**

回答 自主防災組織連絡協議会の全体会にて全区長に対し、協定およびその補助金の案内を行った。緊急避難内容に関しては区民に対しての説明等があり、協定が結ぶところまで至ってないと考えられる。

## 決算審査特別委員会

**委員長　福崎　トビオ**

令和6年度の決算審査に際し、市長、副市長、教育長をはじめ関係部課長等の出席を求め、決算概要の説明を聞くとともに、資料請求に基づく資料等を参考に委員会を開催しました。

一般会計では、AIオンデマンドバスおよび公共施設等連絡バス運行、JR古賀駅周辺官民連携ウォーカブル社会実験、新たな観光事業の促進、インキュベーション施設現況調査、子ども医療費扶助、高校生未来プロジェクト、特別支援教育の推進、心臓検診、障がい者生活支援、多文化共生、恒久平和希求、コミュニティ活動推進、災害対策、地球温暖化防止対策、などについて、予算執行の適正性、成果および課題についての質疑、意見などが上がりました。採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

# 反対討論×賛成討論

## 一般会計

**賛成**　森　真希

高齢化と人口減少が進む中、公共交通の確保に市民が主体的に参加する取り組みが必要。コミュニティの維持向上に補助金の拡充と周知を。

子育ては、学校と連携したメディア啓発事業の推進・就学援助制度の拡充・子ども食堂支援を。安心して暮らせるまちへ雇用対策推進を求め、執行は妥当と判断し賛成。

**賛成**　大隈　慶太郎

新宮中央駅まで延伸したコガバス小竹線は利用促進策等によって、高校生等の半額100円利用者は延伸当初の2・5倍の25人となり通勤通学の利便性が向上した。

また、高校生未来プロジェクトでは有益な提言がなされ、高校生にとっても市政参画への意欲向上につながった。以上2点を評価する。

**賛成**　秋吉　智紀

「快生館」の覚書に関して、大幅な条件変更が議会へ説明されず締結されていたことに強く危機感を抱く。

官民連携を進めるうえで、透明性と公平性、官と民の役割分担が適正に機能しているかが重要だが、大きな疑義を抱かざるを得えない。

しかし、市の職員や現場のスタッフは懸命に職務に努めており、今後の改善に期待して、賛成。

**賛成**　奴間　健司

健全財政が維持されたこと、18歳までの子ども医療費無償化等住民福祉の向上につながったことから賛成。薬王寺快生館、高校生リバースメンター事業、公共交通、減災・防災組織体制、学校検診と子どもの健康づくりについては今後の所管事務調査や一般質問で継続提言。課題解決が不十分という反対討論があったが不認定の理由にはならない。

**反対**　今井　公一

子育て支援医療事業費「医療扶助」、教育費「特別支援教育推進事業、学習支援体制拡充」など先進的な取り組みを高く評価。しかし、総務費、農林水産業費、土木費は、委託先や費用の妥当性、成果・効果、市民への説明や話し合いなど課題の解決・改善が不十分で決算を認定するには困難と判断し反対。



## 特別会計

### 国民健康保険

**賛成**　奴間　健司

療養諸費、出産育児諸費等が給付され被保険者の命と健康を守ったこと、データヘルス計画に基づき糖尿病、高血圧対策を推進したことから賛成。血圧計の保有率実態調査と保有率アップ、保健・健康づくり事業報告書作成・公表等は今後の所管事務調査や一般質問で継続提言。国保料の負担が重いという反対討論があったが不認定の理由にはならない。

**反対**　今井　公一

古賀市が健康増進事業に積極的であることは評価。しかし国保税が高いという市民からの声が依然と多い。年収400万円4人世帯をモデルに近隣都市と比較すると宗像市40万6千円、福津市41万円、古賀市は43万6千円と最も高い。「移住促進」の古賀市としては基金積立金の調整などで国保税額の維持または引き下げは可能であったと考えられるため反対。

# 主な審議

第3回 定例会
（9月2日～30日）



## 44号議案 古賀市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正

① 配偶者等が、介護を必要とする状況に至った職員に対する介護に関する両立支援制度の意向確認等の他、勤務環境の整備に関する措置を設けるもの。
② 育児を行う職員の職業生活と、家庭生活の両立を一層容易にするため部分休業制度を拡充するもの。

付託 ▷ 総務委員会 | 賛成全員 | 可決

本会議 賛成全員 **可決**

## 45号議案 古賀市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正

標準化基準に適合する基幹業務システムに「住登外者宛名番号管理機能」が追加されることに伴い、市が保有する住民台帳に登録されていない者の情報を照会または提供できるようにするもの。

付託 ▷ 総務委員会 | 賛成全員 | 可決

本会議 賛成全員 **可決**

## 46号議案 古賀市手数料条例の一部改正

地方公共団体情報システムの標準化基準に適合する基幹業務システムへの移行に際し、名寄帳兼課税台帳の写しを交付する手続の条例の一部を改正するもの。

・名寄帳兼課税台帳の写し交付手数料
　1通 300円

付託 ▷ 市民建産委員会 | 賛成全員 | 可決

本会議 賛成全員 **可決**

## 47号議案 古賀市水道事業給水条例および古賀市下水道条例の一部改正

災害その他非常時における給水装置および、排水設備に係る工事を迅速かつ適正に実施する体制を整備するため、関係条例の一部を改正するもの。

付託 ▷ 市民建産委員会 | 賛成全員 | 可決

本会議 賛成全員 **可決**

## 60号議案 工事請負契約の締結

2009年築の古賀中学校管理棟において、職員室の拡張を伴う増築工事を行うことにより、教職員の執務スペースを確保するとともに、多目的室を整備し、学習環境の向上を図るもの。

付託 ▷ 文教厚生委員会 | 賛成全員 | 可決

本会議 賛成全員 **可決**

## 61号議案 財産の取得

古賀市立小・中学校学習用端末の入れ替えに伴い、財産を取得するもの。

・取得内容 パソコン端末
　「Chromebook」Lenovo製 6,344台
・納入場所 古賀市立小・中学校

付託 ▷ 文教厚生委員会 | 賛成全員 | 可決

本会議 賛成全員 **可決**

## 諮問第1号 諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員のうち2名が、令和7年12月31日をもって任期満了となることに伴い、同委員候補者として推薦する。

前野　早月　氏　　伊東　孝廣　氏

48号議案

# 令和７年度古賀市一般会計補正予算（第３号）

## 予算の総額に歳入歳出それぞれ 16億6,559万6千円を追加

第３回 定例会
補正予算（９月10日）

### 幼児教育・保育提供事業費

子ども家庭センター
**1,612万９千円**

・**保育所等施設型給付費等の増等**
認定こども園等の第３子以降の保育料を無償化するもの。



### 被災者支援事業費

福祉課
**410万５千円**

・**豪雨災害見舞金等の追加**
８月豪雨により被災した市民に対して見舞金を支給するもの。



### 災害復旧事業費

建設課
**7,670万円**

・**公共土木施設災害復旧工事費の増**
８月豪雨により被災した公共土木施設の復旧工事を行うもの。

### 農業用施設管理事業費

農林振興課
**4,826万３千円**

・**町川原フソフソ水路改良工事費の追加**
６月豪雨により閉塞した横断管の改良を行うものなど。

・**青柳熊本井堰改良工事費の追加**
損傷した井堰の改良を行うもの。



本会議 賛成全員 **可決**

49号議案 ～ 53号議案

# 令和７年度 特別会計・公営企業会計補正予算

**国民健康保険**
**9,310万４千円を追加**
国民健康保険財政調整基金積立金の増

**後期高齢者医療**
**839万４千円を追加**
保険料等負担金の増

**介護保険**
**7,203万１千円を追加**
国および県還付金等の追加

**水道事業**
（収益的支出）**366万８千円の増**
（資本的支出）**25万９千円の増**
人事異動等による人件費の調整および顧問弁護士報酬の増

**下水道事業**
（収益的支出）**5,485万４千円の増**
（資本的支出）**314万３千円の増**
人事異動等による人件費の調整

本会議 賛成多数 **可決**

# 令和７年第３回定例会　議案の議員別賛否一覧

会期：令和7年9月2日（火）～9月30日（火）

| 号数 | 議案名 | 結果 | 今井公一 | 結城弘明 | 中野敦史 | 古賀誠視 | 森真希 | 秋吉智紀 | 村松謙二 | 福崎トビオ | 平木尚子 | 松島岩太 | 伊藤康義 | 大賀文子 | 大隈慶太郎 | 奴間健司 | 秋山隆哉 | 井之上豊 | 紙谷由香 | 森本義征 | 渡孝二 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 44 | 古賀市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長職のため、表決に参加しない |
| 45 | 古賀市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 46 | 古賀市手数料条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 47 | 古賀市水道事業給水条例及び古賀市下水道条例の一部改正 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 48 | 令和７年度古賀市一般会計補正予算（第３号） | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 49 | 令和７年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算（第１号） | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 50 | 令和７年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号） | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 51 | 令和７年度古賀市介護保険特別会計補正予算（第１号） | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 52 | 令和７年度古賀市水道事業会計補正予算（第２号） | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 53 | 令和７年度古賀市下水道事業会計補正予算（第１号） | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 54 | 令和６年度古賀市一般会計決算の認定 | 認定 | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 55 | 令和６年度古賀市国民健康保険特別会計決算の認定 | 認定 | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 56 | 令和６年度古賀市後期高齢者医療特別会計決算の認定 | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 57 | 令和６年度古賀市介護保険特別会計決算の認定 | 認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 58 | 令和６年度古賀市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定 | 可決及び認定 | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 59 | 令和６年度古賀市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定 | 可決及び認定 | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 60 | 工事請負契約の締結（古賀中学校管理棟増築工事） | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 61 | 財産の取得 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 62 | 「少人数学級の推進」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・教育予算の拡充」を求める意見書の提出 | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 諮問1 | 人権擁護委員候補者の推薦 | 適任 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 諮問2 | 人権擁護委員候補者の推薦 | 適任 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 請願1 | 「少人数学級の推進」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・教育予算の拡充」を国の関係機関に求める意見書提出に関する請願 | 採択 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

○は賛成　●は反対　議員名は左から議席番号順

## 請願

### 7年請願1
### 「少人数学級の推進」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・教育予算の拡充」を国の関係機関に求める意見書提出に関する請願

1．少人数学級を推進し、義務教育課程で残されている中学校の35人以下学級の方針に基づいて確実に実現すること。

2．教育の機会均等と水準の維持向上のため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに教育予算の拡充を図ること。

国へ意見書を提出することを求める請願を賛成全員で採択しました。

請願者　菅　正範　簑原　隆代
紹介議員　紙谷　由香　森本　義征
村松　謙二　大賀　文子

## 意見書

### 「少人数学級の推進」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・教育予算の拡充」を求める意見書

賛成全員で国および政府に意見書を提出することに決まりました。

提出者　文教厚生常任委員会
委員長　古賀　誠視

# 一部事務組合議会報告

議長　渡　孝二

## 北筑昇華苑組合議会

令和7年8月19日　第2回定例会開催

福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数が減少（下田川清掃施設組合の解散に伴う。）し、同退職手当組合規約が変更されました。

北筑昇華苑組合長の損害賠償責任の一部免責に関する条例が制定されました。

また、火葬炉設備等更新事業に係る請負契約の締結（契約の相手方は太陽築炉工業株式会社）契約金額約18億5900万円が上程され、賛成全員で可決。

令和6年度決算の認定について審議、歳入総額は約4億5100万円、歳入の主なものは葬祭場使用料（6333件分）約2億7700万円や有価物売却益約8300万円。歳出総額は約3億7500万円で、歳出の主なものは職員人件費約1億3200万円や火葬炉補修工事約1400万円等、賛成全員で認定。

## 古賀高等学校組合議会

令和7年7月24日　第2回臨時会開催

専決処分（令和7年度古賀高等学校組合補正予算（第1号））が上程され、歳入歳出それぞれ500万円を計上、歳出の主なものとして、デジタル学習ライセンス料473万6千円などが計上され、賛成全員で承認。

また、古賀高等学校組合教育委員会委員に農崎隆子氏を任命することに賛成全員で同意。

令和7年8月25日　第2回定例会開催

古賀高等学校組合長の損害賠償責任の一部免責に関する条例が制定されました。

令和6年度決算の認定について審議、歳入総額は約5億6400万円、歳入の主なものは組合構成市町からの分担金約4億1800万円や授業料約7200万円。歳出総額は約5億5900万円で、歳出の主なものは教育職員人件費約3億8400万円や高等学校管理費約5500万円等、賛成全員で認定。

# 古賀市子ども議場体験会

令和7年8月4日に、古賀市子ども議場体験会が開催され、市内の小学生11人と付添いの保護者が参加しました。子どもたちは、議会についての説明を受けた後、議場や委員会室、議長室などの見学を行いました。



メインの子ども議会では、3つの議案について意見を述べ、賛成・反対の多数決を行いました。議案1は「学校にスマートフォンを持ってくる」ことについてで、賛成6票、反対5票となり、議案2は「救急車の不適切利用を有料にする」で、全員が賛成。議案3は「全国民が休みの日を制定する」でしたが、賛成1票、反対10票と反対が多数でした。

子どもたちからは、「議会のことを知らなかったけど、体験して興味を持った」「自分の意見を伝えられて良かった」「議会のやり方がわかり、楽しかった」などの感想が寄せられました。

次回の体験では、実際に議員さんがやっている所を見てみたい！や議長の役割や議員の仕事をさらに詳しく知りたいという意欲も見られました。

この体験会が、子どもたちにとって議会を身近に感じる良い機会となったことを嬉しく思います。

参加していただき、ありがとうございました。



# ここが聞きたい！ 一般質問

| | |
|---|---|
| 異常気象に対応するために | 井之上 豊 |
| 市内小中学校運営の諸変更の目的とその影響について | 大隈 慶太郎 |
| 古賀市の災害対策について | 中野 敦史 |
| ACP（人生会議）の普及と支援体制について | 紙谷 由香 |
| 古賀市は本当に災害に強いのか | 古賀 誠視 |
| 消防団分団・部による自治会への「消防協力金」依頼について | 村松 謙二 |
| 快生館のこれまでとこれからを問う | 秋吉 智紀 |
| ①“ひと育つ　こが育つ”を進める「通園制度」に<br>②地元農産物の利用を進め、子どもたちのためにおいしい学校給食を | 森　真希 |
| ①市民の命を守る防災の強化と河川の整備は行政の責任<br>②小中学校体育館にただちに空調設備を～屋内でも熱中症は起こる<br>③西鉄宮地岳線跡地利用は「まちづくり」の一環として考えるべき | 今井 公一 |
| ①避難所となる学校および公民館施設の防災機能強化の推進について<br>②安心できる子育て支援について | 平木 尚子 |

※村松議員の一般質問は、本人の希望により掲載していません。

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。
一人30分（答弁を含まず）の持ち時間で質問します。
掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。
掲載は通告届出順です。

中継・録画は、インターネットで視聴できます



井之上 豊
（公明党）

## 異常気象に対応するために

### 答 今後とも情報共有や連携を図る

**議員** まちの駅の設置についてどう考えるか。

**市長** 一般の商店や飲食店などが登録し、まち歩きの途中で休憩や地域の情報などを提供する施設であると認識している。

**議員** クーリングシェルターについてどう考えるか。

**市長** 本市では、熱中症特別警戒アラートが発表された場合の市民等の一時的な避難場所として、現在、市内9施設を気候変動適応法に基づくクーリングシェルターに指定している。併せて市独自に、暑さをしのげる場所「涼み所」として市内15施設を指定している。市民の熱中症による健康被害の発生を防止するために、今後も指定施設の拡充を進めていく。

**議員** 今回の大雨で防災総合マップは適切に機能したと考えるか。

**市長** 洪水浸水想定区域や内水浸水想定区域で被害の多くが確認され、防災マップに示された災害リスクが現実化したと認識された。

**議員** 防災士を避難所へ出動要請することは今後考えられるのか。

**市長** 現時点では考えてはいないが、大規模災害時には専門的知識と技能を活かして力添えを期待している。

**議員** 商工会・観光協会に協力要請は。

**市長** 災害時は物資の供給や緊急避難場所の提供などに関する協定は事業所ごとに締結している。今後も連携を図っていく。

クーリングシェルターのロゴマーク





大隈　慶太郎

# 昼休み15分短縮の目的は

## 答　放課後のゆとりを生み出すため

**議員**　夏休み延長の決断理由は。

**教育長**　議員からいただいた保護者、子どもの意見や、給食の回数増も可能ということで判断した。

**議員**　文部科学省の調査では朝読書は語彙力、読解力の向上につながり、学力テストの得点が高いとされている。朝読書の時間削減をどう捉えているか。

**教育長**　朝読書の時間の長短はともかく、可能であれば続けてほしい。中断していた中学校も9月から再開した。

**議員**　古賀市教育委員会編さんの「子ども読書活動推進計画」にも朝読書の重要性が示されている。現場でも尊重されるべき。昼休み短縮の目的を「放課後のゆとり」と言われたが「昼休みがないのが嫌だ」遊ぶことができないという状況をどのように捉えているか。

**教育長**　時間が短いほうがよい、また逆に長いのが苦痛だという声もいただいている。

**議員**　ハーバード大学の調査研究では適切な学校の日程を整えていない学校は、教育の質が低下するだけでなく、不登校も増えると報告されている。（図）子どもたちは、「ゆとりのない学校生活」を余儀なくされている。教育長は自ら何をすべきと考えるか。

**教育長**　校長に具体的な指示をすることはできないが、各校長がそれぞれ判断するものと考える。

**適切な日程を整える学校**

ハーバード大学　英国ウェールズ調査
1．教育の質向上だけでなく、不登校抑制にもつながる。
2．特に「給食・昼休み・業間時間」をしっかり確保することは、食生活・健康・人間関係・心理的安定に直結。休憩を削って授業時間を確保するよりも、「ゆとりを確保して学びの質を高める」方向が望ましい。



中野　敦史
（自由クラブ）

# デジタルツールを活用し災害時の負担軽減を

## 答　デジタル実装の可能性を追求していきたい

**議員**　市民からの被害情報を防災ＡＩチャットボットで収集し、災害種別の判別作業・集約等の業務の負担軽減につなげては。

**市長**　導入により、前段の整えが効率的にできるということは初動対応において非常に意義がある。

**議員**　リアルタイムで被災箇所や通行止めを地図上で可視化することで、職員同士の情報の共有や、市民への周知にも役立つのでは。

**市長**　可視化は必要と考え、指示している。市民にどうお示しできるかという視点は今後の災害復旧等を考えていく上では必要な作業になってくる。

**議員**　災害対応の配備体制について。災害の状況に応じては、配備担当外の職員でも、フレキシブルに対応できるようにする仕組みづくりを検討しては。

**市長**　今回の規模以上の災害が起きた際に組織としてどう柔軟性を持って人員配置していくかといったところは、今後考えていく必要があると考えている。

**議員**　被災者への対応について、災害支援に関する相談事は、一本化して、ワンストップ窓口のようなものを設置するということも有効な手立てでは。

**総務部長**　今回の災害についてはワンストップ窓口を設けることは現在考えていないが、ある程度一定の相談については、総合窓口という形で、総務課で受けたいと考えている。

**AIチャットボットで災害対応の効率化**




一般質問



紙谷 由香
（市民クラブ）

## ACP（人生会議）の周知啓発は

**答** **本質が伝わるような普及・啓発が必要**

**議員** ACPの普及啓発は、どのように進めているのか。

**市長** 市ホームページでの情報発信、広報こがでの特集記事掲載。令和7年度からは「まちづくり出前講座」にACPをテーマとした新規メニューを追加。「わたしの思いを伝えるカード」を作成し参加者に配布するなど、市民が自分らしい最期を考えるきっかけを提供し、普及を進めている。

**議員** 地域包括ケアシステムの中でACPはどのように位置づけられているのか。

**市長** その人らしい暮らしを最期までさせるための話し合いの場として重要な役割を持っている。今後は、災害の備えと同じように市民がACPを「自分事」として捉え、自主的に準備することが必要と考え、医療・介護・地域コミュニティ・学校など関係機関と連携して市全体で市民の尊厳を守れる仕組みを築いていく。

**議員** 学校や保護者への教育・啓発はどう進めるのか。

**教育長** 学校現場では、ACPの知識がまだ十分浸透していないため、まずは教職員が正しく理解することが必要だと考える。生徒については、中学2年生で「命の大切さ」「生き方を考える態度」を育む学習とACPの趣旨が重なる部分があるので授業で触れることができる。各学校に提案し、実現を図りたい。

「わたしの思いを伝えるカード」






古賀 誠視
（市民クラブ）

## 毎年繰り返す浸水被害を改善してほしい

**答** **現段階の知見で想定し、対応を示すことが大切**

**議員** 災害時の避難生活におけるトイレなどの整備は、強い問題意識を持って進めるべきと指摘されているが市の現状は。

**総務部長** 災害時の仮設トイレの借り入れの協定を締結。バリアフリーの災害用簡易組立てトイレを18台購入し、小学校の防災倉庫に保管。テントやパーテーションなどの追加を検討。

**議員** 行政区への防災用資機材購入補助金はどのような状況か。

**総務部長** 指定緊急避難場所の使用に関する協定を締結した自主防災組織に、10万円を支給。

**議員** 現在の非難所の設置場所は適切なのか。

**総務部長** 今回の豪雨による小野小学校横の河川の越水を踏まえ、来年度からは、古賀東中学校を避難所として開設することを検討。必要に応じ見直す。

**議員** 災害時の雨水の貯留槽の整備など、今後検討してほしい。

**建設産業部長** 雨水管理総合計画を作成し、調整池の整備、排水管の大きさの検討を進めており、浸水のひどい地区から実施していければと考えている。

**議員** 毎年繰り返す浸水の被害をなくしてほしい。今回も浸水でシャッターなどの破損や車への浸水被害に遭われた、市民の叫びです。

**市長** 現段階の知見で想定して、対応できることを市民にしっかり示すことが大切。

今回の豪雨で浸水した市内の状況





秋吉 智紀
（切磋琢磨）

## 覚書で歪められた官民連携ではないか

**答** 成果はある。適切に行っている

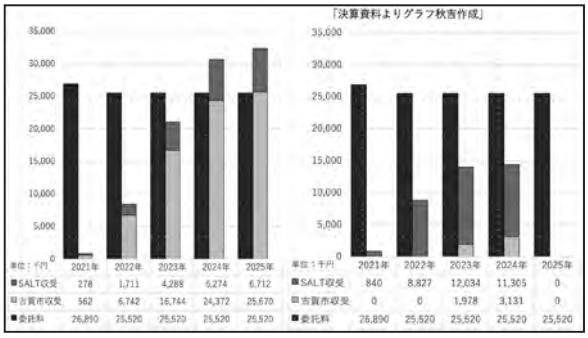
**議員** これまでに投じられた額は、今期予算を含め、4億2000万円。快生館の工事費・修繕費だけで約1億円が費やされているが、快生館はそもそも民間が所有している物件。改良工事に投じた費用を返還請求できる権利を、市は放棄して契約しているがなぜか。今回、オーナーにより物件が売却される。不動産鑑定などをして、売却益および年間賃料およそ380万円は妥当なのか道義的に説明すべき。市長に問う。

**経営戦略課長** あくまでもインキュベーション施設として効果を出すためのリノベーション工事。売却については民間のことなので市として詳細は控える。

**議員** 運営に関して、経費のほぼ全てを市が負担しており、適切な官民連携とは言えない。また、当初は「売上の8割を市が得る」前提条件が、覚書によって「売上の1～2割を市が得る」という形に修正され、売上の大半が運営会社に渡る仕組みとなった。さらに、事業の根幹をなす覚書を締結したにも関わらず、議会および市民に向けて情報開示がなかったのは、市長なぜか。

**経営戦略課長** 覚書は仕様書等で定めており、適切に執行している。説明が不十分だという指摘に関して、今後も説明を尽くしていく。

運営会社の見込み（左）と現実（右）






森 真希
（山海会）

## 新・通園制度や居場所、交流の場の課題は

**答** より利用しやすい制度となるよう努める

**議員** 各園の利用状況と今後、利用が増えた場合の対応は。

**保健福祉部長** 受入れ施設は5施設、定員内の利用となっている。待機児童を出さないように取り組んでいる。

**議員** 利用が増えると保育士の業務量が増加し、安全管理や発達フォローに負担がかかることを懸念している。保育現場の問題はないか。

**保健福祉部長** 保育士に過度な負担がかからないよう、現体制で受入れ可能な範囲で利用定員を設定している。現時点で問題はない。

**議員** 古賀市は子どもや保護者の居場所づくりに取り組んでいるが、コロナ禍から減少している。親子で交流できる場の拡充も必要ではないか。

**市長** 子どもの居場所、交流する場は非常に重要な政策課題で、安心して憩える場は必要と認識している。民間とも連携し、居場所づくりを追求したい。

### 学校給食での地産地消促進を

**議員** 学校給食では、地元農産物の利用を進めているが利用状況はどれくらいか。

**教育部長** 約32％が地元産の農産物である。

**議員** 地元農産物の利用促進には生産部門、流通部、保健福祉部門など、連携や協議の場が必要ではないか。

**市長** 部署間の政策間連携も必要、利用促進に向け検討したい。

地域の子育てサロン



一般質問



今井 公一

## 行政の責任は市民の生命健康を守ること

### 答 市民の生命財産守る取り組みを推進する

**議員** 8月豪雨で大根川が氾濫寸前だった。7月には庄北区自治会組長会議から大樹木伐採の要望書が出されているが改善していない。不作為、人災と言われぬよう可及的速やかな対応を求める。

**市長** 県と引き続き協議する。

**議員** 小・中学校体育館は緊急・一般避難場所だが空調設備がない。避難者の生命に関わる人権問題。同時に小・中学生の授業にも影響。室内でも熱中症は起きると認識しているか。

**市長** 熱中症予防対策は極めて重要であると認識しており、小・中学校体育館への空調設備設置を計画的に進めている。避難者の為には空調機のある特別教室や和室地域開放室を準備している。

**議員** 西鉄宮地岳線跡地利用は何のため、誰のためか。防災・環境・まちの活力・暮らし、この4つのテーマから検証が必要と考えるが市長の見解は。

**市長** 目的は「構造的に分離された歩道を有する道路」の整備。安全面や、車両・歩行者の通行量といった課題の検証を優先。議員指摘のテーマは、まちづくり全体として整理する。

**議員** 高齢者や子ども、若者、障がい者の意見も聞くべき。特に子どもの権利条約の立場から子どもたちの意見は必ず聞き、結果を次の議会で報告を。市民が参加するシンポジウムやあるいはワークショップ実施を求める。

西鉄跡地は人や環境に優しい桜並木道へ





平木 尚子
（公明党）

## 安心できる子育て支援について

### 答 子育てしやすい環境をつくることが大事

**議員** 入院中の赤ちゃんに母乳を届ける等のために、定期的に母乳を絞る必要のある母親が安心して搾乳ができる場所は。

**保健福祉部長** 市役所、サンコスモ古賀のほかに、市内3児童センター内の授乳室、リーパスプラザこが交流館1階の授乳室など。

**議員** 気兼ねなく授乳室で搾乳できることへの理解や、環境づくりが大切だと思うが、市長の考えは。

**市長** 母体保護と子どもの健康を守るための搾乳できる環境をつくるということは当然に時代の要請であり、全ての母親が安心して赤ちゃんを育てていける前提の社会をつくっていく。

**議員** 「こども誰でも通園制度」の利用状況と今後の展開について。

**市長** 来年度からの本格実施に先駆け、今年7月から先行的に事業を開始。7月までの申請者実人数は59人、うち利用者実人数が41人となっており、各施設とも定員内での利用である。今後の展開として、来年度からは、「子ども・子育て支援法に基づく乳児等のための支援給付」として、全国で本格実施される予定であり、今後国から示される通知等の内容を踏まえ、円滑な運用に努めていきたい。

### 避難所となる学校等の防災機能強化について

**教育長** 避難所としても利用される学校体育館の空調設備については、令和9年度末までに全小・中学校への設置を完了する計画。

授乳コーナーにある搾乳マーク（左上）



# 総務委員会

7月28日

委員長　秋吉　智紀
副委員長　平木　尚子
副委員長　松島　岩太
紙谷　由香　大賀　文子
森本　義征

## 地域とのつながり強化に向けて

まちづくり推進課

多文化共生推進協議会について、留学生生活オリエンテーションについて、住民基本台帳ネットワークシステムの標準化に伴う移動通知書および同意書についての報告がありました。

**問** **つながりひろばと市の関わりについて。**

**答** 市民活動に関する相談や情報提供、市民活動団体同士の交流促進を目的に設置。

**問** **登録団体減少の要因は。**

**答** 役員の高齢化による活動減少とつながりひろばの認知度不足。

**問** **自治会加入率低下への対策は。**

**答** 転入者への情報提供、自治会活動の素晴らしさや、興味関心が持てるイベントの広報、加入促進のチラシを配布。

## 市役所のDXの現状は

デジタル推進課

スマホおたすけ窓口について、行政事務標準文字の導入についての報告がありました。

**問** **DXの取り組みについて。**

**答** 現在はデジタイゼーション（アナログ作業の電子化）デジタライゼーション（デジタル化された情報を活用して業務を最適化する）の取り組みが多いが、その先にあるDXをめざす。今回の行政事務標準文字はデジタイゼーションの一環。さらに、可能な部分でDXにつなげていきたい。

**問** **DXの取り組みの業務改善相談に関して市民からの募集予定について。**

**答** 今回は、職員からだけであるが、市民の意見募集についても含めて考えていきたい。

## 防災意識向上に向けて

総務課

災害用の簡易組み立てトイレと可搬型蓄電池ソーラーパネルを委員会で確認しました。

**問** **災害が激甚化している中で、県との防災合同訓練について。**

**答** 県の防災訓練は、各消防本部の持ち回りであり、古賀市と新宮町が共同で行うのは10数年後になる。

**問** **防災訓練に関する補助金など費用について。**

**答** 総務課の補助金はない。費用は、校区コミュニティに対する交付金を活用されていると認識しているが、賞味期限の近い備蓄食の提供や訓練に参加される企業の手配や手続きなどは、総務課危機管理係が担当している。




## 社会課題解決に向けて

経営戦略課

自見壮二郎さんと古賀中学校生徒の交流事業について、井上泰幸のセカイ展関連における市役所展示について報告がありました。

**問** **インキュベーション施設運営に係る覚書について。**

**答** 覚書は、今年度の収支状況が明らかになった段階で締結予定である。

**問** **高校生未来プロジェクトの内容について。**

**答** 市内高校生5人が市長の相談役としてアドバイザーからの助言を受けながら、9月末までに事業提案を行う。

**問** **AIオンデマンドバスの現在の状況と運行経費減などの影響や今後の取り組みについて。**

**答** 4月から運行台数の減と電話予約を課内で受付することで予約の取りにくさなどの意見はあるが、利用者数に影響は出ていない。今後は登録者増を図っていきたい。

# 文教厚生委員会

7月23日
29日

委員長　古賀　誠視
副委員長　今井　公一
森　真希
大隈　慶太郎
奴間　健司
秋山　隆哉

## 将来にわたっての生活習慣病予防

健康介護課

ヘルスアップぷらん（健康増進計画（第三次）・食育推進計画（第二次））の実施状況について、特定健診・がん検診の受診状況等について、介護保険サービスの利用状況について等の報告がありました。

**問** **健康チャレンジ10か条の普及啓発において、どのように学校給食との連携を行っているか。**

**答** 学校の栄養教諭と定期的に協議を行っており、健康チャレンジ10か条の作成に際しても、意見を伺いながら内容に反映している。学校の給食時間に栄養教諭が作成した動画を放映したり、給食だよりに健康チャレンジ10か条を掲載したりするなど、さまざまな形で連携を図っている。

## 恒久平和に願いを込めて

福祉課

原爆と人間展について、令和6年度住民税非課税世帯物価高騰緊急支援給付金について、障がい者就労等支援について等の報告がありました。

**問** **原爆と人間展は、戦後80年の節目として特別月間の位置づけとなったが、本来、毎年8月を広島・長崎を考える平和月間とするのがふさわしいのではないか、令和8年度以降は通常の展示に戻るのか、それとも特別企画を加えて継続されるのか。**

**答** 令和7年度は戦後80年ということで、各課が連携してさまざまな取り組みを実施し、平和の大切さを伝える月間としての幅を広げている。令和8年度以降については、今年度の取り組みを踏まえ、関係部署と協議を重ねながら検討していく。

## ハラスメント対応策

学校教育課

学事係から、小・中学校における通話録音装置の設置について報告がありました。

通話録音装置は外部からの全ての通話に自動音声で録音告知を流し、その後会話を録音する仕組みで、学校からの発信時も自動で録音するとのこと。目的は、通話内容を正確に把握すること、また、威圧的・長時間の電話対応抑止や対応記録の保存であること等がわかりました。

委員から、録音時の告知や告知省略条件について慎重さを求める意見や、教職員・保護者双方の萎縮への懸念が示されました。



## 安心安全な給食を未来へ

教育総務課

給食費歳入は全額賄材料費に充当する方針で、不足分や高騰分は補助金等で補填するとのこと。また、国による無償化が実施された場合も給食の質確保のため必要額は計上し、質と量の確保に全力を尽くすとの報告がありました。

**問** **給食食器変更に伴う旧食器の引き取り状況は。**

**答** すでに受け渡しを開始し、インターネットや電話での申込みが、お椀、中皿、小皿に千数百枚ずつあっている。また、総務課と協議し、残余食器の一部は災害時非常用として各小学校の災害倉庫に保管する方針とのこと。

**問** **学校給食費公会計化に伴う人員配置・応援体制の見通しは。**

**答** 適切な人員配置を人事秘書課へ要望している。公会計化は業務範囲が広いため、全校の事務官と協議を重ねるなど、部内で連携し進めている。

常任委員会報告

# 市民建産委員会

7月15日
8月 7日

委員長　結城 弘明
副委員長　中野 敦史
副委員長　村松 謙二
福崎 トビオ
伊藤 康義
井之上 豊

## 脱炭素に向けて

環境課

令和6年度一般廃棄物の総排出量とリサイクル率、古賀市脱炭素経営支援プラットフォーム等の報告がありました。

**問** **脱炭素へ向けたエネルギー使用量削減に係る市の取り組みは。**

**答** 職員の節電意識、設備機器の保守・更新を行っており、今後は再生可能エネルギーへの転換により温室効果ガス排出量を削減する方向性を検討。

**問** **脱炭素経営支援プラットフォームの事務局業務は。**

**答** 市内企業と支援企業とのマッチングや、コーディネーターの派遣。これまで市が中心となり、思いを込めてつくったプラットフォームなので、行政・事業所が協力し合いながら共につくっている。

## 道路整備の流れ

建設課

県事業工事予定箇所について、令和7年度地籍調査業務委託、国道495号線の陥落等の報告がありました。

**問** **各行政区からの要望、対応の流れは。**

**答** 要望の集計等を行い、現地確認、緊急性の高いものについては随時対応。要望に対する回答は次年度の予算の関係もあるため、翌年度1月以降に区長会等で方向性を回答。

**問** **国道495号線の陥落事故の原因は。**

**答** 本市としては下水道管渠が原因ではないと把握している。今後は県の調査結果を待つこととしている。



## 古賀駅周辺の考え

古賀駅周辺開発推進課

JR古賀駅西口・東口周辺整備、都市空間情報デジタル基盤更新業務等の説明がありました。

**問** **駅西口周辺整備でのまちづくりの機運醸成に向けた捉え方は。**

**答** 社会実験を通し、駅周辺の将来像やイメージを体感していただける機会になればと考えている。

**問** **都市空間情報デジタル基盤業務のワークショップの開催時期は。**

**答** ワークショップの開催時期は3月までを検討。市民がどこにいてもアクセスできる環境づくりも行っていきたい。

**問** **東口周辺整備の車寄せ、民家の移転軒数の想定は。**

**答** 車寄せについては、乗降に必要な台数を確保する形で警察と協議を進めている。民家の移転軒数の想定としては約5軒から6軒ほどの影響があると考えている。

## 古賀市をPR

商工政策課

古賀サービスエリア・照葉スパリゾート・KBCオーガスタでのイベント、古賀市飲食店ガイド作成等の報告がありました。

**問** **古賀サービスエリア、照葉スパリゾート、KBCオーガスタでのPRは。**

**答** それぞれチラシ、パンフレットの配布をメインとし、古賀サービスエリアでは観光PR動画の放映、照葉スパリゾートでは、パネル展示とPR動画の放映に加え、市内事業所の技術を活かしたノベルティの配布、KBCオーガスタでは、メディアへの露出が期待される日程に焦点を当て、できる限りの手段でPRを行いたい。

**問** **古賀市飲食店ガイド作成について、商工会や料飲店組合との関わりは。**

**答** 商工会および料飲店組合の会員リストから、取材対象のピックアップを実施していく予定。

常任委員会報告

第3回定例会の傍聴者は37人でした。
ありがとうございました。
第4回定例会は11月26日（水曜日）開会予定です。

インターネットによる中継・録画配信も行っています。
ご利用ください。



令和7年度
古賀市議会
議会報告会

# 意見交換会

今回のテーマ

## 自治会ってなに？

地域の中のつながり？についてさまざまな視点で語り合います

令和8年 **2月8日（日）**

**13:30▷15:30**

リーパスプラザこが
**多目的ホール**

会場の収容人数制限により、席数に限りがございます。

お問い合わせ　古賀市議会事務局 092-942-1134



古賀市議会の中継・録画は

**古賀市議会**

またはQRコードで検索してください。

中継・録画　音声読み上げ版

※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。

バックナンバーの**音声読み上げ版**もあります。



令和7年　古賀市議会
第4回定例会会期日程（案）

会期　11月26日～12月11日　16日間

| 日 | 曜 | 会議名 |
|---|---|---|
| 11/26 | 水 | 本会議（初日） |
| 28 | 金 | 本会議（2日目） |
| 12/1 | 月 | 常任委員会 |
| 2 | 火 | 常任委員会 |
| 3 | 水 | 常任委員会 |
| 4 | 木 | 補正予算審査特別委員会 |
| 5 | 金 | 一般質問 |
| 8 | 月 | 一般質問 |
| 9 | 火 | 一般質問 |
| 11 | 木 | 本会議（最終日） |

開議時刻は全て9時30分～

注）会期日程は、11月21日（金）の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。
◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。
（本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です。）
◎請願書の締切りは11月19日（水）午後5時です。

## 表紙の言葉

子ども議場体験
会の活気あふれる
充実した時間を笑
顔で楽しんでいる
子どもたち。

## 編集後記

10月まで続いた、厳しい残暑も落ち着き、秋の気配を感じるようになりました。

秋と言えば、食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋。色々なところで、イベントも数多く開催されています。SNSの普及で、紙面での情報収集が少なくなっていますが、議会内容を分かりやすく知っていただけるよう、委員全員で編集に取り組んでいます。これからも分かりやすい、読みやすい市議会だよりをめざします。

（紙谷）


**議会報編集常任委員会**

委員長　福崎 トビオ
副委員長　秋吉 智紀
委員　平木 尚子
〃　紙谷 由香
〃　森 真希
〃　秋山 隆哉

発行／古賀市議会　編集／議会報編集常任委員会　〒811-3192　福岡県古賀市駅東1-1-1
議会事務局／電話（092）942-1134　FAX（092）942-1160

VEGETABLE OIL INK